



学校だより
第9号

西の子

西表小中学校
校長 仲地 みゆき
令和4年6月22日(火)

校訓「明るく、かしこく、たくましく」

先生方も学び合い！

17日(金)、中3担任池田亘先生による、校内研修の第1回研究授業(道徳)が行われました。今年度は、「対話の質の向上」を目指した授業づくりに取り組んでいます。3年生の生徒は『二通の手紙』という教材文を通して、「法やきまりの意義」について考えました。八重山教育事務所 マックマイケル留美子指導主事からは、「生徒たちが、たくさん考え、悩みながらも活発に意見交換をしている姿が見られ、授業づくりのねらいが達成されていた。」と講評をいただきました。研究授業後の授業研究会では、生徒に負けず、先生方も各グループで活発な研究協議がなされ、授業改善への情熱が感じられる研修会でした。

また、5～6月は、全教師による公開授業がありお互いに参観しあう「互見授業」が実施されています。小中の先生方で学び合える小中併置校の良さが大いに生かされています。



自分にできることは？

15日(木) 福祉体験学習(小)

「福祉 ふだんのくらしのしあわせについて学ぶ」として、福祉体験学習が行われました。相手のことを理解し、自分にできること、自分たちにできることに気づく」等を目的に、「車いす体験」「アイマスク(歩行・点字)体験」誰でも遊べる「ペタンク体験」があり、体験前と、体験後に感じたことを書きました。子ども達は、初めて体験する内容も多く、実際の体験を通して、体の不自由な方々のことを知り、自分にもできることを考えることができました。中学生は、7月に実施予定です。体験学習に先立ち、町社会福祉協議会から、R4～5年度竹富町ボランティア推進校指定証の交付があり、児童・生徒の自発性や社会性を育むことを目指しています。

